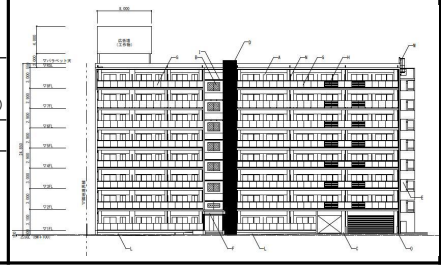


# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西辻泉大津駅前マンション新	階数	地上8F
建設地	大阪府泉大津市旭町	構造	RC造
用途地域	準工業・近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年07月 予定	評価の実施日	2024年01月25日
敷地面積	1,185 m <sup>2</sup>	作成者	松田 恒彦
建築面積	464 m <sup>2</sup>	確認日	2024年04月02日
延床面積	2,615 m <sup>2</sup>	確認者	西辻 達佳



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.8</b> ★★☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.7</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.8</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.0</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 2.9</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.9</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>開口部遮音性能:T-2以上。 住居部分: 2.0% ≤ [昼光率]</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>給水HIVP(B)、給湯(湯)、排水VP(B)、Eは不使用。 階高: 2.9m以上、3.0m未満</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>BEI=0.98</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>特になし。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	(仮称)西辻泉大津駅前マンション新築工事						
建設地	大阪府泉大津市旭町						
用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	断熱性能					3	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			3	
④	エネルギー消費性能					3	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			1	
		評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電		風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					3.0	3
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.3	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項	BEI=0.97						